



第60期 報告書

平成21年12月1日から平成22年11月30日まで

株式のご案内

事業年度 毎年12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会 毎年2月中
基準日 定時株主総会については毎年11月30日
といたします。
そのほか必要があるときは、あらかじめ
公告して定めます。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
特別口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(お問い合わせ先) 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
ホームページ <http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>

(特別口座について)
株券電子化前に株式会社証券保管振替機構(ほふり)を利用
されていなかった株主様には、特別口座管理機関である
上記のみずほ信託銀行株式会社に口座(特別口座といいま
す。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会
および住所変更等のお届出は、上記のお問い合わせ先にお
願いたします。

※証券会社に口座をお持ちの場合は、お取引の証券会社へお問
い合わせください。

公告方法 電子公告
但し、事故その他やむを得ない事由に
よって電子公告ができない場合は、日
本経済新聞に掲載

(ホームページアドレス) <http://www.asahieito.co.jp/>
上場証券取引所 大阪証券取引所(市場第二部)

アサヒ衛陶株式会社

株主の皆様へ



取締役社長

町元 存二



社 訓
誠實と明朗 技術と精進 親和と共栄
基本スローガン
社会に役立つ企業づくり

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
ここに、当社第60期（平成21年12月1日から平成22年11月30日まで）報告書をお届けするにあたり事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも何卒変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年2月

事業の状況

当期におけるわが国経済は、政府による各種景気刺激策の効果や外需主導で一部に穏やかな回復が見られた一方、長期化する円高・株安、慢性的なデフレや厳しい雇用環境による個人消費の低迷が依然と続く厳しい状況で推移いたしました。

住宅関連業界におきましては、住宅ローン減税や住宅エコポイント制度導入等の需要促進対策もあり、新設住宅着工戸数が前年同期を上回る動向となりましたが、依然として低水準で推移しております。このような市況の下で、更に景気の二番底懸念も増大しており、今後も厳しい市場環境が続くものと思われ

ます。かかる状況の中、当社といたしましては、衛陶工場の生産全量を海外委託生産体制に移行することにより、また、水栓金具を海外へ仕入移管することにより大幅な生産コストの削減および仕入価格のコストダウンと生産拠点および物流拠点を本社に集約することで運賃コストの削減を積極的に推進してまいりました。

販売面では、エコ商品の推進として6ℓ節水便器「エディシリーズ」・「ワンピースシリーズ」を更に拡充することにより新規需要の獲得に努めてまいりました。また、洗面化粧台では、より付加価値の高い商品として好評を得ております「ビュレアシリーズ」に「シャイニービュレア」・「エレナ」の2機種を投入することで更に機種拡充を図り、販売強化に努めてまいりました。

また、衛陶工場の生産全量の海外移管および洗面化粧台等の生産拠点、物流拠点の集約化等により人件費・運賃等の管理費の圧縮に努めてまいりました。

その結果、売上高は2,972百万円と前期比15.7%の減少となりました。売上総利益は売上高の減少にも拘らず大幅な原価低減を図れたことにより961百万円と前期比18.0%の増加となりました。販売費及び一般管理費は運賃等の減少で1,083百万円と

前期比3.5%の減少にとどまりましたので営業損失は121百万円および経常損失は122百万円を余儀なく計上することになりました。また、特別利益として固定資産売却益等を計上したことにより当期純利益は32百万円となりました。

設備投資および資金調達の状況

当期において実施いたしました設備投資は、物流プラットフォーム、物流倉庫庇が主なもので、その総額は20百万円であり

ます。また、平成21年12月15日を払込期日として第三者割当により294万株の新株式の発行（払込金額1株につき34円）を実施し、総額99百万円の資金調達を行いました。

会社に対処すべき課題

わが国経済は、現状各種政策の効果や外需主導で景気は穏やかな回復基調となりつつあるものの、為替および株価は安定せず、慢性的なデフレや厳しい雇用環境など、先行き不透明感を払拭できない状況が続くものと思われ

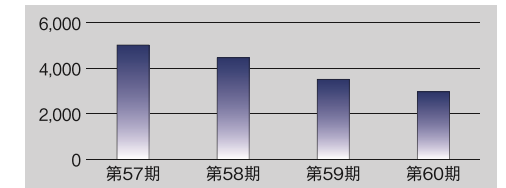
ます。国内の住宅設備市場におきましても、雇用情勢の悪化や個人消費の低迷から新設住宅着工戸数、リフォーム需要に回復の兆しが見られないなど、市場環境は依然として厳しい状況が続くものと思われ

ます。このような厳しい経営環境下の中、当社は先ず第61期におきまして、営業黒字化を目指しております。

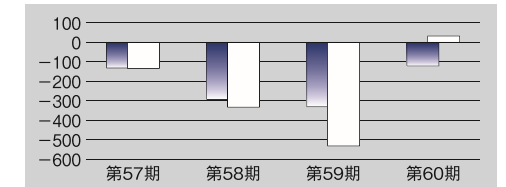
こうした課題に対処するため、利益額確保として収益性の向上を最重要課題として下記項目を掲げ目標達成に向けて全力で取り組んでまいります。

1. 収益改善として
 - ・海外委託生産体制の見直しをすることにより更なる生産コスト削減。
 - ・海外仕入先への移管強化および仕入商品の仕見直しにより仕入価格のコスト削減。
 - ・海外からの輸入体制再構築により運賃コスト削減。
2. 財務体質の改善として
 - ・全金融機関への借入金元本の返済条件の見直しによる運転資金の改善。
 また、平成23年3月に短期借入金の借換を計画。
3. 販売強化として
 - ・海外調達の推進による価格競争力のついた商品の拡販と新規販路の開拓。

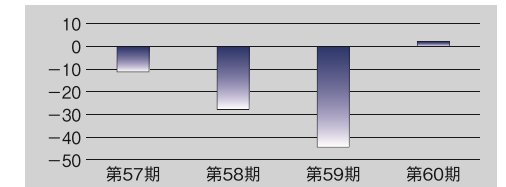
■売上高 (単位：百万円)



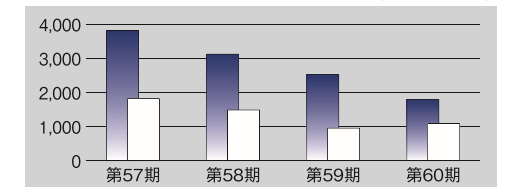
■経常損益 □当期純損益 (単位：百万円)



■1株当たり当期純損益 (単位：円)



■総資産 □純資産 (単位：百万円)



貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当 期 (平成22年11月30日現在)	前 期 (平成21年11月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	1,141,121	1,305,531
現金及び預金	159,936	104,575
受取手形	246,987	240,090
売掛金	352,490	402,500
商品及び製品	328,028	475,732
前渡金	42,945	—
預け金	—	68,800
その他	12,033	15,432
貸倒引当金	△ 1,300	△ 1,600
固定資産	661,668	1,219,254
有形固定資産	600,065	1,153,389
建物・構築物	230,651	568,793
機械及び装置	16,888	40,862
車輛・工具器具及び備品	9,024	22,073
土地	343,501	521,659
無形固定資産	6,042	8,766
ソフトウェア	2,423	3,201
その他	3,619	5,565
投資その他の資産	55,560	57,098
投資有価証券	32,375	32,578
破産債権等	64,214	69,407
団体生命保険掛込金	—	6,146
その他	23,185	18,373
貸倒引当金	△ 64,214	△ 69,407
資産合計	1,802,790	2,524,785

損益計算書

(単位：千円)

科 目	当 期 (平成21年12月1日から 平成22年11月30日まで)	前 期 (平成20年12月1日から 平成21年11月30日まで)
売上高	2,972,111	3,526,420
売上原価	2,010,235	2,711,413
売上総利益	961,876	815,007
販売費及び一般管理費	1,083,023	1,122,673
営業損失	121,146	307,665
営業外収益	—	—
受取利息・受取配当金	573	803
その他	29,879	23,608
営業外費用	—	—
支払利息	10,750	25,376
その他	20,582	22,770
経常損失	122,026	331,399
特別利益	—	—
固定資産売却益	157,323	—
投資有価証券売却益	—	2,730
受取和解金	32,468	—
貸倒引当戻入額	887	216
特別損失	—	—
投資有価証券評価損	6,514	6,960
固定資産除却損	8,563	—
減損損失	3,906	37,905
貸借契約解除による原状回復費用	8,670	—
工場閉鎖損失	—	149,823
税引前当期純利益又は 税引前当期純損失(△)	40,998	△ 523,143
法人税、住民税及び事業税	8,950	9,000
当期純利益又は当期純損失(△)	32,048	△ 532,143

キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当 期 (平成21年12月1日から 平成22年11月30日まで)	前 期 (平成20年12月1日から 平成21年11月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 12,885	15,870
投資活動によるキャッシュ・フロー	638,583	△ 23,979
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 570,336	△ 132,506
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	55,360	△ 140,614
現金及び現金同等物の期首残高	104,575	245,190
現金及び現金同等物の期末残高	159,936	104,575

株主資本等変動計算書

(平成21年12月1日から平成22年11月30日まで) (単位：千円)

株主資本		
資本金		1,384,000
前期末残高		1,384,000
当期変動額		99,960
新株の発行		99,960
当期変動額合計		1,483,960
資本剰余金		
資本準備金		109,367
前期末残高		109,367
当期変動額		—
当期変動額合計		109,367
資本剰余金合計		109,367
前期末残高		109,367
当期変動額		—
当期変動額合計		109,367
利益剰余金		
その他利益剰余金		—
繰越利益剰余金		△ 532,143
前期末残高		△ 532,143
当期変動額		32,048
当期変動額合計		32,048
利益剰余金合計		△ 500,094
前期末残高		△ 532,143
当期変動額		32,048
当期変動額合計		32,048
自己株式		△ 500,094
前期末残高		△ 950
当期変動額		△ 1
自己株式の取得		△ 1
当期変動額合計		△ 952
株主資本合計		960,273
前期末残高		99,960
当期変動額		32,048
新株の発行		△ 1
当期純利益		△ 1
自己株式の取得		132,006
当期変動額合計		1,092,280
前期末残高		1,092,280
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		△ 4,499
前期末残高		△ 4,499
当期変動額		4,502
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		4,502
当期変動額合計		3
前期末残高		△ 4,499
当期変動額		4,502
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		4,502
前期末残高		3
純資産合計		955,774
前期末残高		99,960
当期変動額		32,048
新株の発行		△ 1
当期純利益		4,502
自己株式の取得		4,502
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		136,509
当期変動額合計		1,092,283
前期末残高		1,092,283

会社の概要 (平成22年11月30日現在)

商号 アサヒ衛陶株式会社
 英文社名 ASAHI EITO CO., LTD.
 創業 享保年間
 設立年月日 昭和25年12月20日
 本店 堺市美原区小平尾451番地
 資本金 14億8,396万円
 営業品目 衛生機器 (衛生陶器・附属器具・水洗便器セット・その他関連機器)
 洗面機器 (洗面化粧台・化粧鏡・天板・その他関連機器)

従業員の状況

従業員数	平均年齢	平均勤続年数
71名	40.1歳	13.7年

事業所の所在地

本社 〒587-0021 堺市美原区小平尾451 ☎072-362-5235
 東京支店 〒115-0056 東京都北区西が丘1-21-1 ☎03-3900-2665
 大阪支店 〒587-0021 堺市美原区小平尾451 ☎072-362-5234
 九州支店 〒841-0042 佐賀県鳥栖市酒井西町640-1 ☎0942-83-3344
 仙台営業所 〒984-0038 仙台市若林区伊在字東通29 ☎022-287-8031
 松山営業所 〒790-0063 愛媛県松山市辻町11-27 ☎089-922-6646

役員 (平成23年2月25日現在)

代表取締役社長	町元孝二
取締役	上中康司
取締役	福森哲也
取締役	三輪山泰好
常任監査役	景光弘
監査役	井関新吾

(注) 監査役のうち中光弘、井関新吾の両氏は、社外監査役であります。

会計監査人 (平成23年2月25日現在)

OAG監査法人

株式の状況 (平成22年11月30日現在)

株式事項

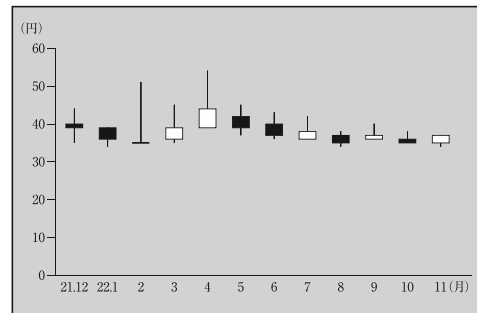
株式総数および株主数の状況は次のとおりであります。
 発行可能株式総数 48,000千株
 発行済株式の総数 14,940千株
 株主数 1,141名

大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
仁慈資源ファンド1号投資事業組合	2,866千株	19.20%
アサヒ衛陶取引先持株会	985	6.60
フィリップ セキュリティーズ	795	5.33
有限会社上中産業	712	4.77
バンクオブニューヨークアイエスアジア ビーティーイーバンクトウキョウレジデント	584	3.91
丹司克	462	3.09
双日ブラネット株式会社	449	3.01
北澤和則	321	2.15
阿部敬二	266	1.78
阿部五美	259	1.73

(注) 持株比率は自己株式 (10,701株) を控除して計算しております。

株価の推移 (大阪証券取引所)



トピックス

新商品紹介

シャイニーピュレア

以前から定評のピュレアがデザインを新たに『シャイニーピュレア』として再登場。

扉の材質変更や、取っ手・排水金具におけるメッキ素材への変更により、デザイン面での向上を図る他、さらにお求めやすい価格での販売を実現しました。

見た目も美しく、清掃性にも配慮したアクリル鏡面素材の扉を採用。

ホワイトとブラックの2色のカラーバリエーションをご用意しました。



節水型トイレが住宅エコポイント対象製品へ

期間 平成23年1月1日～平成23年12月31日

窓の断熱改修工事や外壁、屋根・天井または床の断熱改修工事 (エコリフォーム) と併せて「節水型トイレ」を設置した場合、住宅エコポイントが発行されます。

エコリフォームやエコ住宅の新築をした場合、さまざまな商品やサービスに交換ができる他、追加グレードアップ工事の費用にも充当可能な「住宅エコポイント」を取得することができます。

詳細につきましては、弊社ホームページ又は住宅エコポイント事務局のホームページをご覧ください。



弊社ホームページ

<http://www.asahieito.co.jp/ecopoint/index.html>

住宅エコポイント事務局ホームページ

<http://jutaku.eco-points.jp/>